

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2004-504794(P2004-504794A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-513064(P2002-513064)

【国際特許分類第7版】

H 02 G 1/06

H 02 G 9/06

【F I】

H 02 G 1/06 3 1 1 A

H 02 G 9/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月2日(2003.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光ファイバケーブルおよび同軸ケーブルなどのための可撓性コンジットライナーを製造する方法であって、

テキスタイル材料から成る少なくとも2枚のレイヤを縫い合せ機に長手方向に通過させる工程、

複数の長手方向スリープが形成されるように、複数のシームを該材料に沿って該長手方向に縫う工程、および

所望の数のスリープを該材料の残部から分離するように、該テキスタイル材料を長手方向に裁断する工程

を含む方法。

【請求項2】

光ファイバケーブルおよび同軸ケーブルなどのための可撓性コンジットスリープを製造する方法であって、

テキスタイル材料から成る少なくとも2枚の積み重なったレイヤを提供する工程、

複数の並行な長手シームを形成することによって該積み重なったレイヤを一体に付着させ、これにより、複数の並行な長手方向スリープを形成する工程、および

所望の数のスリープを該材料から分離して個々のスリープまたは複数スリープのセットとする工程

を含む方法。

【請求項3】

光ファイバケーブルおよび同軸ケーブルなどのための可撓性テキスタイルコンジットであって、

並行関係で配置および接続された少なくとも2つのスリープ部材を有して成り、各スリープ部材は、ケーブルなどを受容するための少なくとも1つのセルを有する、可撓性テキスタイルコンジット。